

令和7年 **5**月の大阪**森林**便り



4月の木の話 **木の香り成分の効能**

- * 樹木は主要成分と副成分で構成されています。
- * 主成分：セルロース・ヘミセルロース・リグニン。
- * 副成分：樹脂・精油・灰分など。
- * 木に色々な香りがあるのは、主に精油成分が樹種によって異なるからです。
- * ヒバは特に強い香りがします。
- * ヒノキチオール（強力な抗菌性を示す成分）やツヨブセン、ドラブリンなどの精油成分の効果により、シロアリや細菌を寄せ付けない極めて高い防虫性、対腐朽性があります。
- * 精油成分は、樹木が生き残りをかけて昆虫や微生物から身を守るためのものです。
- ☆フィトンチッド

- * 植物から発散される香り成分。
- * 森林浴に代表されるリラックス効果。
- * 他の植物の成長を阻害する作用。
- * 害となる昆虫や微生物を避ける作用。
- * 殺虫・殺菌する作用。



(木材利用システム研究会 木力検定委員会 木力検定 木を学ぶ 100 問より抜粋引用)



住宅にもっと国産材を

「ウッドショック」受け 安保リスク意識

*木造住宅1戸あたりに使う木材（合板除く）の国産材比率は、2023年度時点で47.2%。

*柱材は6割弱が国産材。梁や桁などは1割ほど。

*戦後の住宅供給にあたり海外材に依存したことなどが背景にあります。

*2021年に起きた世界的な木材相場の高騰「ウッドショック」で、日本は輸入材の調達難と高値に直面しました。

*ウクライナ危機やスエズ運河の航行停滞などが続き、円安も輸入コストを押し上げます。

*国産スギ材の間柱は1月時点で欧州産に比べ8%安くなります。

*林業従事者は1980年年代の3分の1に減りました。

（2025年4月8日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

